

～世界にほこる石見銀山～

年 組 名 前

室町時代に、石見銀山(現在の大田市)では、大量の銀を産出していました。
戦国時代になると、石見銀山をめぐる、大名たちがはげしく戦いました。

Chall ① 石見銀山を支配した、下の戦国大名の人物名を書きましょう。



尼子晴久



毛利元就



豊臣秀吉



徳川家康

秀吉や家康もほしがるとらい銀がとれたんだね。

石見銀山の銀で作られました(御取納丁銀)
☆下の地図は、戦国時代と江戸時代の石見銀山周辺の地図です。



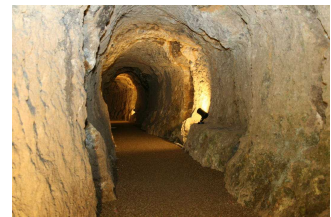
石見城跡



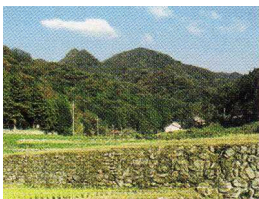
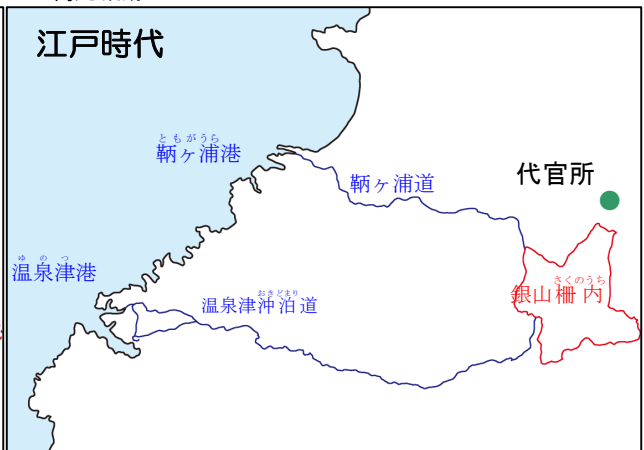
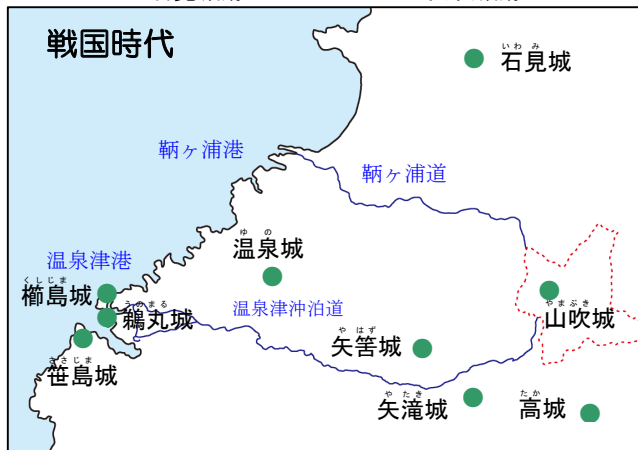
山吹城跡



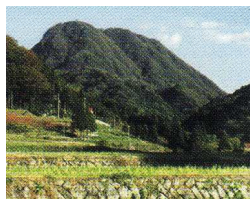
鶴丸城跡



銀を掘り出すために掘ったトンネル(龍源寺間歩)



矢筈城跡



矢滝城跡



石見銀山を管理した代官所の跡

銀山柵内
銀鉱山の本体。江戸時代の初めに柵で厳重にかこまれていたことからこの名がつけられた。

② 2つの地図を比べて、気がついたことを書きましょう。

- ・戦国時代は、石見銀山の周りにたくさんの城がある。
- ・石見銀山を取り囲むように城がある。
- ・街道を挟むように城がある。
- ・山だけでなく海にもある。
- ・江戸時代になると、城がなくなって、銀山の近くに代官所だけができている。

・銀が採れなくなったから、城が減ったのかな？
・たくさんの大名が石見銀山を奪い合って、城ができていったと思う。
・江戸時代には、戦いが無くなったので、代官所になったと思う。